

観光・コンベンションセミナー、優良従業員表彰式・賛助会員交流会を開催



2月12日(水)、ANAクラウンプラザホテル広島において、令和元年度「観光・コンベンションセミナー」、「優良従業員表彰式・賛助会員交流会」を開催しました。

広島商工会議所との共催による「観光・コンベンションセミナー」では、観光専門の経営コンサルチームを率いる業界のスペシャリストである、(株)観光ビジネスコンサルタンツ代表取締役 西川 丈次氏を講師にお迎えし、「あなたの企業を成長させる「おもてなし経営」～『創客』の本質と実践～」と題して、たった一度の出会いでお客様に感動を提供し、リピーターを創り出し、ビジネスを生み出す「真のおもてなし」について、ご自身の体験など具体的な例を交えてわかりやすくお話いただきました。139名の参加者が熱心に耳を傾け、講演終了後も活発な質疑応答が行われました。

優良従業員表彰は、当ビューローの賛助会員企業・団体に長年勤務され、その勤務成績や観光客の接客等に優れている方々を表彰するものです。今年度は14企業・団体の37名(出席者34名)の方が当ビューロー池田理事長から表彰を受けられました。受賞者の皆様のお名前を別紙でご紹介しています。

表彰式に続いて開催した賛助会員交流会は、池田理事長の開会の挨拶、松井会長(広島市長)の乾杯の発声で開会しました。今年度は132名の方にご参加いただき、活発な情報交換や交流が行われ、盛会となりました。

ご多用の中で参加いただいた会員の皆様に心からお礼を申し上げます。
(企画総務部)



広島フィルム・コミッション支援映画2作品がベルリン映画祭で受賞

カンヌ国際映画祭、ヴェネツィア国際映画祭と並び世界三大映画祭の一つであるベルリン国際映画祭(2月20日～3月1日)に、広島フィルム・コミッションが誘致・支援した映画2本が出品され、両作品ともに受賞を果たしました。

コンペティション部門に選ばれた映画「Irradiated(照射された者たち)」は、カンボジアのリティ・パン監督によるドキュメンタリーで、2016年から原爆に関するリサーチや撮影を続けてきた作品。部門を越えて出品されたドキュメンタリー21作品の中からドキュメンタリー賞に選ばれました。

若者が審査を務めるジェネレーション部門に選ばれた「風の電話」は、東日本大震災で家族を失った少女が伯母と暮す広島から岩手へと旅をするロードムービー。広島出身の諏訪敦彦監督が「日本の少女ハルと欧州の同世代がどのような出会を生むのか楽しみ」と映画祭への意気込みを語られていましたが、国際審査員による特別表彰を受けました。(魅力創造部 魅力創造担当)



故郷広島でベルリン国際映画祭への思いを語る諏訪監督(2月12日)

パネル展示「すずさんの四季の暮らしノート」開催

広島フィルム・コミッションが長期にわたりサポートさせていただいたアニメーション映画「この世界の片隅に」の続編で、昨年末から公開された新作「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」で、ていねいに描き足された四季折々の風物詩にスポットをあてた展示が広島市郷土資料館でスタートします。映画のシーンに関する生活風景をパネルで展示し、当時の生活や四季の暮らしを点描します。ぜひご覧ください。

会場：広島市郷土資料館 (<http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>)

会期：2月28日(金)～5月6日(水)

※2月29日(土)から3月15日(日)まで臨時休館。詳細はHPをご覧ください。



展示は物語りの始まる冬→春→夏→秋の順になっています

第 34 回日本放射光学会年会・合同シンポジウム広島開催決定

広島大学放射光科学研究センターが中心となり、当ビューローが誘致協力を行った第 34 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（JSR2021）の広島開催が決定しました。

この学会は、国内外の放射光分野の研究者が一堂に会し研究成果を発表するシンポジウムで、会期中には、地域の高校生や保護者を含めた一般の方々が科学の話題で集う市民公開プログラムも企画されています。

広島での開催は 2014 年以来となり、開催日程は、2021 年 1 月 8 日から 10 日までの 3 日間で、600 名以上の参加を予定しています。

今後も 2021 年の開催に向け、当ビューローもきめ細かな支援を行ってまいります。（MICE 推進部）

「大久野島未来づくりシンポジウム」にパネリストとして参加しました

2 月 11 日（火・祝）に開催された「大久野島未来づくりシンポジウム」（主催：環境省中国四国地方環境事務所）に当ビューロー魅力創造部の蒲池受入態勢整備担当課長がパネリストとして参加しました。このシンポジウムは Rabbit Island として知られる竹原市大久野島の未来像を考えるため開催されたワークショップの成果報告として実施されたもので、当日は約 120 人の参加者がありました。蒲池課長は観光事業の観点からオーバーツーリズムの現状について説明しました。



今後も、当ビューローでは地域の課題に対して観光振興の立場から取り組んでまいります。（魅力創造部受入態勢整備担当）

インバウンドセミナーを開催しました



2 月 17 日（月）、広島コンベンションホールにて、広島テレビと共同でインバウンドセミナーを開催しました。

前半では、当ビューローの支援内容を紹介するとともに、海外の旅行会社と直接商談を行うことの有効性について、昨年の「Visit Japan トラベル & MICE マーケット（VJTM）2019」の例を交えながら説明しました。

後半では、サイクリングガイドツアー「sokoiko!」を実施している株式会社 mint の石飛社長が、自身の事業の立ち上げから現在に至るまで、情報収集や人脈づくり、VJTM2019 への共同出展など、当ビューローの支援を活用したことによる具体的な成果を発表され、参加者からは「ビューローとどのように連携すればよいかわかった」というコメントをいただきました。

3 月中に、当ビューローのウェブサイトにて「事業者支援」のページを開設します。株式会社 mint のケーススタディの紹介のほか、支援内容や実例を紹介しますので、ご活用ください。

URL：<https://www.hiroshimacvb.jp/tourism/business-support/>（魅力創造部受入態勢整備担当）

AIME2020 に初出展しました

2 月 17 日から 3 日間、オーストラリアのメルボルンで開催された国際コンベンショントレードショー「AIME2020」に、（公財）福岡観光コンベンションビューロー、（公財）北九州観光コンベンション協会と共同で出展しました。AIME2020 には、世界各国から約 350 もの会議主催者、PCO（会議運営会社）、旅行会社及び大企業のイベント企画担当者等がバイヤーとして来場し、当ビューローも 27 社のバイヤーの皆さんと商談を行いました。また、広島産学公連携 MICE 推進協議会インセンティブ部会員の株式会社ファンプ様にご参加いただいたことで、インセンティブトラベルのプランや見積りを詳細に提案することができ、広島が訪問都市としてより具体的な選択肢の一つとなりました。



今後もインセンティブ部会と連携して、「チーム広島」としてインセンティブトラベルを含めた MICE 誘致活動を行い、広島開催につなげてまいります。（MICE 推進部）

発行 （公財）広島観光コンベンションビューロー URL <https://www.hiroshimacvb.jp/>

企画総務部・MICE 推進部

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5 広島国際会議場 3 階
(TEL) 企画総務部 082-244-6156 MICE 推進部 082-244-4853

魅力創造部

〒730-0011 広島市中区基町 5-4 4 広島商工会議所ビル 6 階
(TEL) 魅力創造担当 082-554-1811 観光客誘致担当 082-554-1812
受入態勢整備担当 082-554-1814 にぎわいづくり担当 082-554-1813